

おいしいあきみ~つけた!

はにゆうしりつとしょかん

【あきのたべもの】

<p>「りんごちゃん」 中野 真典/作 BL出版 E/リ</p> <p>カラスの落とした大きなりんごが、泣いていた</p>  <p>女の子の頭にパカッとハマりました。すると女の子は、「私は今日からりんごちゃん」と、くるくる踊り出し…。</p>	<p>「りんごかもしれない」 ヨシタケ シンスケ/作 ブロンズ新社 E/リ</p> <p>テーブルの上のりんご。でも、もしかしたら、これはりんごじゃないのかもしれない。大きなサクランボの一部かも。何かのタマゴかも…。</p> 
<p>「どででんかぼちゃ」 いわさ ゆうこ/さく 童心社 E/D</p> <p>かぼちゃのつるが、しゅるしゅるとのびて、畑を葉っぱで埋め尽くす。かぼちゃの花が咲き、実がずんずん大きくなって、どででんと、かぼちゃができて…。</p> 	<p>「カボチャのなかにたねいくつ?」 マーガレット マクナマラ/作 フレーベル館 E/カ</p> <p>クラスでいちばん小さなチャーリーは、背の順に並ぶのが気に入らなかったけど、カボチャのたねを数えて、ある発見をします…。</p> 
<p>「つみつみでんしゃ」 薫 くみこ/作 ひさかたチャイルド E/ツ</p> <p>かき、くり、きのこ…。赤い「つみつみでんしゃ」は、おいしいものを見つけるたびに急停車! さあさあ、つんで。でんしゃにつんで。どんなおいしいものにあえるかな?</p> 	<p>「あたまにかきのき」 いもと ようこ/文・絵 金の星社 E/ア</p> <p>柿の木の下で昼寝をしていたねぼすけさんの頭に、からすが熟れた柿の実を落とした。目をさましたねぼすけさんが、あたまのてっぺんに手をやると、芽が出ていて…。</p> 

【おもい】

<p>「ごろんずっしりさつまいも」 いわさ ゆうこ/さく 童心社 E/ゴ</p> <p>夏のさつまいもばたけは葉っぱだらけ。太陽と葉っぱが作った力が赤い根っこにたまっていって、さつまいもになったよ!</p> 	<p>「おもいおもい」 木坂 涼/作 教育画劇 E/オ</p> <p>おもいを運んでいると、だれかの泣き声。おもいが「重い重いってひどいわ」と大泣きしています。みんなはびっくりして、今度は大事に運んでいくと…。</p> 
<p>「ほくほくおもいまつり」 すとう あさえ/ぶん ほるぷ出版 E/ハ</p> <p>今日は、楽しいおもいまつり。ねずみくんの家族は、みんなでおもいほりに行きました。力をあわせてほったたくさんのおもいは、おうちに持って帰って、たき火で焼いて…。</p> 	<p>「おもい!」 石津 ちひろ/文 小峰書店 E/オ</p> <p>秋の楽しみは、おじいちゃんのはたけでやる、おもいほり! つるをひっぱれば、うんとこどっこい、よーいしょ。とびっきりのおもいを、やきいもにして食べよう!</p> 
<p>「おもいさんがね…」 とよた かずひこ/さく・え 童心社 E/オ/ハジメテ</p> <p>おいしいおもいさんは、どこから来たの? 目を覚まして、土の中からよしよしよしよ、と出てきたおもいさん。そして…。みんな、ほくを食べられるかな?</p> 	<p>「いもほり」 はまの ゆか/作 ほるぷ出版 E/イ</p> <p>おじいちゃんのはたけにいもほりにやってきたあきちゃんと、はるくんは、さつまいも畑でおおはしゃぎ。おじいちゃんがさつそくたきびで焼いてくれて…。</p> 
<p>「さつまいものおもい」 中川 ひろたか/文 童心社 E/サ</p> <p>おもいは土の中で暮らしています。ごはんも食べるし、菌もみがきます。おいしいもの畑に子ども達が行ってきて、おもいと子ども達のつなひきが始まりました…。</p> 	<p>「ねずみのえんそくもぐらのえんそく」 藤本 四郎/作 ひさかたチャイルド E/ネ</p> <p>きょうはとってもいい天気。おいしいものをとりにいこう! ねずみ園ともぐら園のみんなは、いもほり遠足へしゅつぱ一つ。いっぱいおもい、ほれるかな。</p> 